

ホラッ 10月の

# 屋外園が呼んでいますよ！！

京都市青少年科学センター



## オオゴマダラの幼虫の食草

### ホウライカガミ (キョウチクトウ科)



日本では沖縄諸島などの海岸に自生しています。茎の基部は木質化しており、葉は光沢があり、葉形は楕円形～広楕円形です。葉の先端は、鈍形、または、凹形、鋭形と様々です。

ホウライカガミは有毒で、それを食草とするのはオオゴマダラ(日本最大級の蝶)の幼虫です。幼虫の時にホウライカガミの葉を食べて、体内に毒を蓄えて天敵から身を守ります。成虫になっても体内に毒が残り、野鳥はオオゴマダラを食べないそうです。

当青少年科学センターでは、オオゴマダラの幼虫の食草として、1年を通してホウライカガミを栽培しています。秋に種をまき春に鉢に植え替えたり、挿し木で増やしたりもして

います。寒さに弱いので温室で育てています。冬は暖房もしています。



屋外園の散策にご自由にお使いください。 使い終わったら もとにもどしてください。

ホウライカガミを食べて大きくなったオオゴマダラの幼虫は、金色に輝く蛹(さなぎ)になり、やがて成虫になります。成虫は日本で最大級の大きさで、優雅でゆったりと飛んでいる姿に魅了される方が多いです。

1年を通して当センターで見られます。



### 生物領域学習園

コスモス、キバナコスモス、マリーゴールド、カンナ、キンミズヒキが咲き誇っています。



**ヤマハギ(マメ科)シロガネヨシ(イネ科)**  
ヤマハギは低山の明るい尾根筋などで見られます。シロガネヨシは別名パンパスグラスと呼び、今が見頃です。

**サルスベリ(ミソハギ科)**  
漢字名は「百日紅」。夏の花ですが、次から次に咲くので百日間も咲き続けるという意味です。まだ咲いています。

**ハナゾノツクバネウツギ(スイカズラ科)**  
アベリアとも呼ばれます。蜜を求めてホウジャクという蛾がよく訪れます。強い刈込みにも耐えるので公園の生垣としてよく植えられます。

**ナンバンギセル(ハマウツボ科)**  
昔南蛮人が持ち込んだマドロスパイプにこの植物の姿が似ているのでついた名です。ススキやヨシの根に寄生する寄生植物です。



**キバナコスモス(キク科)**  
熱帯アメリカ原産。園芸植物として栽培されていたものが広がり、河川敷や空き地でよく見かけます。花色には橙色と黄色があります。

屋外園散策に ご自由にお使いください。使い終わったら もとにもどしてください。

10月

# 花だより

京都市青少年科学センター



キイジョウロウ  
ホトトギス



ホトトギス



ツワブキ



ナンバンギセル



キンモクセイ



トチガミ



アメリカ  
センダングサ



ミヤギノハギ



ヤマハギ



コウヤボウキ



カリガネソウ



ヨメナ



ワレモコウ



フジバカマ



パンパスグラス



ハナゾノツクバネウツ



キバナコスモス



コスモス

屋外園が  
呼んでますよ!